

重野まさきを囲む会を開催しました（12月1日）

毎年この時期に開催しています。今回も大勢の皆様からご参加いただきました。新しい顔ぶれも増え、支援の広がりを感じました。櫻井市長からは激励のごあいさつを、また柏刈地区から選出されている池田県議・与口県議のお二人と鷲尾代議士からはメッセージをいただきました。重野議員は市民の皆様との関係を深めているとともに、議員活動の幅を広げています。

重野議員はこれからも偏りがなく、公正公平の立ち位置を保ち、市民の福祉向上のために努めます。



重野議員は「防災士」としても活動しています

市内の中学校で「防災講習会」の講師を務めたり、「防災士チーム柏崎」の一員として、小中学校の避難訓練や柏崎工業高校の防災授業のお手伝いをしています。また、柏崎市としての災害に対するBCP（業務継続計画）や受援計画の策定、および今回の新型コロナウイルス感染症の終息後に、感染症に対するリスクマネジメント体制の構築、危機管理・対応マニュアルの評価策定を提案しています。



6月定例会議の予定

6月5日（金）～ 6月22日（月） * 6月10日（水）・11日（木）が一般質問

大流行（パンデミック）となっている新型コロナウイルス感染症。感染防止と体調管理をお願いします。この感染症拡大防止のための様々な影響は、経済界のみならず学校関係を含めた公共の活動にまで広がっています。そのため以前の生活に戻るまでには相当な時間がかかりそうです。学校の休校が1か月以上続いたこと、部活動も休止の状況は今までになかったことです。学校の再開後のことが心配です。学習内容のことだけでなく、子どもたちの生活習慣の回復、メディアから距離を置くことなどを含め、心身のケアが必要になってきます。そんな中、3月下旬に私の長女が結婚しました。全国的に大きな集會会合の自粛が言われているところでしたので、両家の家族のみで式を挙げました。長男はすでに結婚しており、子どももいます。これでも二人ともそれぞれに家族をもちました。今までも同居はしていませんでしたが、正直何とも言えない気持ちです。でも、これで親としては一つ肩の荷をおろせました。幸せになってほしいと思います。

皆様、いかがお過ごしでしょうか。世界的

「重野まさき後援会」への入会を募集しています。ホームページからも入会できます。

ホームページ <https://www.masakishigeno.com> Eメール shigeno@mvg.biglobe.ne.jp

後援会事務所 ☎0257-24-1671 携帯090-4717-9638 ★重野正毅はフェイスブックもしています。フェイスブック 重野正毅

人を、まちを、未来を、つなげる しげの 重野まさき通信

第19号 令和2年4月8日発行

発行：重野まさき後援会
事務所：〒945-0072 柏崎市北園町19-47
連絡先：☎0257-24-1671
発行責任者：中村 広行 [後援会内部討議資料]

令和2（2020）年度スタート

2020年が始まりました。この冬はこれまでになく暖冬小雪で、夏場からの渇水も心配されるところですが、新型コロナウイルス感染症のことでこの異常気象のことが忘れ去られようとしています。こちらの対策も必要なことだと思っています。

さて、新型コロナウイルス感染症のことで。拡大防止のため、学校の臨時休校、中学校の修学旅行や卒業式の延期、各種イベントの中止や延期、規模の縮小により、日常生活のみならず経済的にも影響が大きくなりました。多くの商店や事業所関係者にとっては大変な時期だと思います。そしていまだその終息も不透明な状況であり、オリンピック・パラリンピックも延期が決まりました。こういう時に最も不安を感じることは情報不足です。何が正しいことなのか、今後の予定はどうか…、市からは正しい情報が広報されています。信頼して大丈夫です。

また、首都圏などでは知事による住民への外出自粛が呼びかけられましたが、なかなか徹底できない様子もありました。「私は感染しない」とか「この程度は大丈夫」などといった根拠のない自信（正常性バイアスと言います）からくる不適切な行動は慎まなければならないことだと思っています。

しかし、いつまでも下を向いてはいられません。この危機を一緒に乗り越えましょう。



*成人式「新成人フェスティバル」は10月31日（土）に延期（12:30～受付）

新型コロナウイルス感染症に関連した支援

議会としても感染症対策支援本部を設置しています。

国や県だけでなく柏崎市でも独自の対策を講じています。いくつかの助成金や支援制度があります。その詳細は柏崎市のホームページで確認してください。例えば、こんな支援対策が講じられています。

- マル経融資（新型コロナウイルス感染症の影響による特例措置／柏崎商工会議所・商工会）
- 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金・支援金
- 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い納税が困難な方に対する猶予制度 など

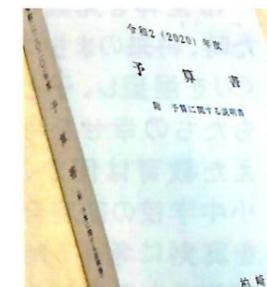
柏崎市新型コロナウイルス関連情報 検索

2020年度予算を可決

一般会計508億円の予算を可決しました。その中でも柏崎初の試み「子育て応援券事業」として、子育て世帯の方々が多様な子育てのサービスを自分たちで選択して補助を受けられる「バウチャー制度」を始めるための準備の予算も計上されています。このサービスは今年度中の開始を目指しています。

令和2（2020）年度予算案についての詳細は柏崎市のホームページからご覧ください。

柏崎市▶市政情報▶予算・決算・財政 検索



重野議員の活動のテーマ… 持続可能な柏崎市であること



SDGs (持続可能な開発目標) のバッジ

- ① 少なくとも5～10年後を想像して現在の柏崎市を考えていく
- ② 市民からは住んでよかったと思われ続けられる柏崎市であること
- ③ 市外の方々から選ばれ続ける柏崎市であること

重野議員はこのような問題意識をもち、議員活動を行っています。

また、「頑張っている方々」「困りごとを抱えている方々」に寄り添い、応援し、支えていく立場で活動しています。これからも未来を見据えたうえで、現在のよりよい生活の実現を提案していきます。

重野議員の主な一般質問

< 1 2月定例会議 >



選ばれ続けるための柏崎の医療

再編統合議論の報道を受け、新潟病院のこれからの不安をもつ市民が少ない。現在の状況や市の見解を伺う。また、併設されている各学校の今後はどうなるか。

選ばれるという単発的なことではなく、持続的に選ばれ続けることが柏崎には必要です。定住人口の減少の抑制につながる視点として…

2019年9月に、厚生労働省から「再編統合に特に議論が必要」とされる病院として新潟病院が指定されました。柏崎市としてはなくてはならない病院の一つです。現在は医療体制や経営状態も全く問題がありません。

(市長答弁抜粋)

市としては健全経営している新潟病院は機能縮小や統廃合されることはないと考えている。駐車場の整備にも協力していく。併設の柏崎特支学校の今後は県に確認していくし、看護学校はさらに充実させる方向で考えている。



< 2月定例会議 >

柏崎市立の小中学校の統廃合

市全体を見渡した時、将来のまちづくりを展望し、子どもたちの幸せを考えた教育は何か、小中学校の統廃合を真剣に考える時期にきたのではないかと。

現在1歳になる子どもたちは市内で500人ほど。今後は右肩下がりの出生数になると想像できます。小学校20校、中学校11校の統廃合は今から考えていかないといけないことだと思います。学校の統廃合は、学区等審議会を立ち上げて5年以上の時間をかけて検討していくものです。生徒数の減少により、今でも中学校の専門教科の教員配置や部活動の存続が問題になっています。



(教育長答弁抜粋)

現在、地域から統廃合に関する要望は出ていないので、市教委としても小中学校の統廃合は検討していない。統廃合の一つの視点は複式学級。今後も地域の状況を注視して、地域や保護者の声を聞きながら対応していく。

*昨年度をもって高柳中学校は閉校し第五中学校に統合しました。高柳小学校はそのままです。

会派「柏盛クラブ」としての代表質問

重野議員は会派の代表として2020年度の施政方針や予算編成に関して以下の質問をしました。



1 柏崎の存在価値 市長が考える柏崎の存在価値とは。

(市長答弁抜粋)

変革していこうとする意志・行動が今日につながる柏崎の力の源泉である。歴史・伝統は大切なものとしながらも新しいものに挑戦していく意欲が柏崎の存在価値だと信じている。



2 持続可能な柏崎のための人材育成・確保

人材確保はお金の支援だけではない。柏崎を選び続けてもらうために必要なものをどう考えているのか。

(市長答弁抜粋)

金銭的な支援による人材確保も大切。柏崎が魅力的なまちだと思ってもらえるまちづくりが人材をつなぎとめ、引き寄せる大事な視点でもある。市内の企業で世界のトップ企業と直接つながっている企業があることなど、市長の立場として市内の企業の素晴らしさをもっと具体的に広報していく。

3 堅実な行政経営と持続可能な財政基盤の確立を図るため

民間活力の活用として、持続可能なまちづくりの観点から、これからさらに強化していくポイントは。

(市長答弁抜粋)

深刻な人口減少・少子高齢時代の中で、持続可能なまちづくりの観点が民間活力の活用に結びついている。公が担うべき仕事、民間にお願いすべき仕事、市民の皆様がお互いに力を合わせて行っていく仕事の仕分けをしながら、産業の活性化や市民の皆様の豊かな生活を含めて、民間の力を使わせていただく事業展開を進めていく。



4 柏崎市教育大綱

教育大綱とまちづくりとの関連をどうとらえているか。

(市長答弁抜粋)

まちづくりは人づくりである。小中学校の教育はまちづくりにつながると確信している。理想を実現するためには時間がかかる。人づくりにお金を使うことは、すべての市民が幸せを感じてもらえる施策の実現につながる。



柏崎市教育大綱

検索

原子力発電所の使用済み核燃料税条例を審議しています

現在の使用済み核燃料税条例を廃止し、新たに使用済み核燃料税の「経年累進課税分」を設けた条例を制定するものです。議会としてはこの議案は重要案件としての認識のもと、随時会議を開き、そこで説明を受けてから審議していくことにしました。

ちなみに現在の使用済み核燃料税は1kg当たり480円ですが、この条例ではそれを620円に引き上げることと、ある条件下で、経年累進分として1年ごとに1kg当たり50円ずつ加算(5年を上限)していくというものです。この使用済み核燃料の経年累進課税化は全国初のことになります。